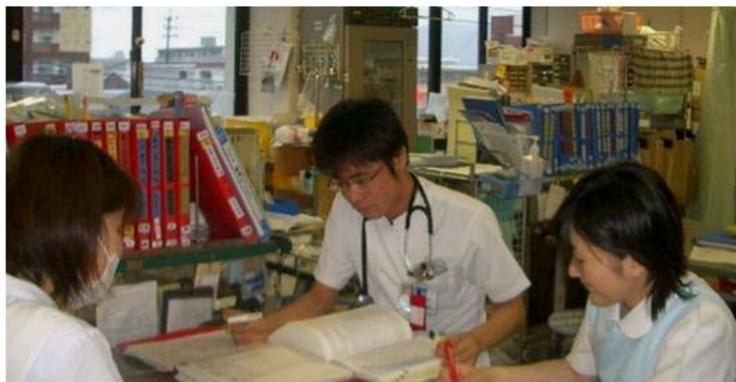


研修医報告ポスター（小松の帰郷）



はじめに徳之島診療所2週間、その後奄美中央病院6週間（うち南大島診療所3日間）というコースは、鹿児島生協病院からいきなり診療所というギャップに衝撃を受けたが、直面化する事で自分に足りない点が鮮明に浮かび上がり良い刺激となった。

また診療所から病院という流れで、診療のなごみ/幅の違いも体感し、これを受け次に鹿児島生協病院へ戻ること、今までとは異なった面から自施設を見つめ直すことが出来るだろう。

南大島診療所の3日間は短過ぎた。それぞれ体制上の問題もあるだろうが、2ヶ所の診療所を一定感じ取れるように、また違いを知る意味でも、2週間ずつの研修期間は？

精神科研修については、是非奄美病院で。病院間の連携をより一層感じ取れるまたとない機会（島に方が連携が強い印象がある）

【今後の課題】

- 評価/踏み込みの甘さの改善「さぼらない！」
- 根拠を追求する姿勢を今一度
- その日のうちに解決するフットワーク/姿勢「延ばさない！」
- 生活習慣病/慢性疾患/高齢者医療の習熟と実践



